

令和2年度

事業計画書



学校法人巨樹の会

目 次

1. 基本方針	P 1
2. 教育方針	P 2
3. 教育計画	P 3 ~ P 4
4. 設置する学校・学科等	P 5
5. 各校事業計画	
福岡看護専門学校	P 6
小倉リハビリテーション学院	P 7
下関看護リハビリテーション学校	P 8
八千代リハビリテーション学院	P 9
福岡和白リハビリテーション学院	P 10
福岡水巻看護助産学校	P 11
武雄看護リハビリテーション学校	P 12

令和2年度 学校法人巨樹の会 基本方針

I. 大学設置に向けた学校法人の基盤整備

II. 継続事業

1. 創造力・実践力の向上を目指した教育の推進
2. 学生満足度向上に向けた取り組み
3. ICT環境の運用
4. 退学者抑制の取り組み（進級率・卒業率90%以上の実現）
5. 国家試験合格率100%実現に向けた取り組み
6. 定員充足への取り組み
7. 地域連携の充実にむけた社会貢献の推進
8. 業務効率化の促進

III. その他

1. 適正な労務管理の実施
 - 1) 全施設において勤怠管理システムを導入し、業務遂行上のムダ・ムリ・ムラを見直し、過剰な勤務を改善することで、教職員の健康管理と時間外勤務の削減。
 - 2) メンタルヘルスケア体制を充実させ、教職員に対する心のケアの充実及び健康管理を推進。
 - 3) ハラスメントのない快適職場づくりを実現。
 - 4) 障害者雇用率2.2%以上の実現。
2. 福岡保健学院30周年記念誌編纂委員会設置と運営（2020年刊行予定）
（大学化を前に専門学校としての歴史を集大成し、伝統を明確する）

2. 教育方針

令和2年度 学校法人巨樹の会 教育方針

1. 根拠ある実践力を身につけた医療従事者の養成を行う

1) 6年間一貫教育*1の徹底

(1) 実践能力強化に向けての教育体制作り

実践力強化のためのシミュレーション教育への取組み

PBL、OSEC等の主体的で対話的な深い学びができる教育方法の工夫

(2) 一人ひとりを大切にされた教育体制(90%以上の進級・卒業率を目指す)

学生満足度の向上

(3) 多職種連携を踏まえた教育の強化

2) 国家試験資格取得にむけての確実な指導体制(100%合格を目指す)

3) 関連施設への就職(昨年度以上の就職率を目指す)

2. 次世代教育に向けて、実践力のある教員の教師力を育成する

1) 専任教員への養成

専任教員養成講習会(NS)・養成施設教員等講習会(PT・OT)への参加促進

専任教員(NS)の継続研修参加促進

2) 学内の研修制度の充実

中央研修への参加促進

学会、研修会参加の促進

3) 主体的・対話的な授業の実現のためのICT機器の活用ができるための研修の実施

4) キャリア向上のための修士・博士課程の大学院進学への推進

3. (仮称)令和健康科学大学の開設準備を行い、設置実現を目指す

大学準備室として10月末の申請を行い、翌年8月認可を目指す

4. 福岡看護専門学校、福岡和白リハビリテーション学院2校の閉校に伴う申請と同時に、学生教育の支援のために教職員対応の充実を図る

専門学校の在校生の教育を教職員全員で支援する

閉校までの準備を滞りなく行う

3. 教育計画

I. 教育の強化

1. 自ら状況判断できる看護師、助産師、理学療法士、作業療法士を育成するために、「主体的に学ぶ」という姿勢を育む教育を実践する。
 - 1) 知識注入型の教育ではなく、思考する教育方法を取り入れた講義、演習、実習に取り組んでいく。
 - 2) 様々な学生指導において、指示待ちではなく自分で考えさせる指導方法を実践する。
 - 3) 学生のやりたいという思い(モチベーション)を大切にした教育を工夫する。
 - 4) 自分にも出来るというような達成感を感じられる教育方法、学生を認める関わりを実践する。
2. カリキュラムに基づく授業運営を通して、カリキュラム評価を行う。
カリキュラムの運営を通して、講義・演習・実習における評価を検討し、教育内容・方法・技術の強化を行い、カリキュラムの見直しを行っていく。

<看護部門>

看護実践能力を高めるために看護技術の強化を図る

厚労省からの手引き「看護師に求められる実践能力と卒業時の到達目標」を参考に、看護の実践者を育てるために、本校における教育内容・方法・看護技術の強化を行う。

- 1) 看護師に求められる実践能力・看護技術の卒業時の到達目標142項目への教育内容・方法の検討

II. 国家試験対策の強化

1. 国家試験全員合格に向けての対策の強化を図る。
 - 1) 昨年度の国家試験対策の評価を行いながら、国家試験対策の強化を図り、全員合格を目指す。
 - 2) 各学年の学生の傾向を分析しながら、教育方法を工夫し、学生の基礎学力の向上を図る。

III. 学生支援について

1. 学生支援体制を整える。
 - 1) 学生の主体性を尊重した教育的な関わりをもち、学生の支援体制をつくる。
 - 2) 教員自ら積極的に挨拶を行い、学生との関わりを機会をふやし自ら学生のモデルとなる。
 - 3) 学校カウンセラー・健康担当医と連携して、学生の学業継続を支援する。
 - 4) 教科外活動、課外活動などを通して、学生間の交流を図る。
 - 5) 早めの就職指導を行い、卒業生の就職率を高める。
 - 6) 卒後3年間の臨床経験を通して実践力を身につけることができる卒後教育が充実した病院への就職を斡旋する。

IV. 入学生確保について

1. 入学生の確保を強化する。

- 1) 広報委員会を中心とした計画的運営により、広報活動を積極的に行う。
ホームページ、ブログ、パンフレット、配布資料、広告、募集活動の工夫など
- 2) 各科の特徴を生かした募集活動を戦略的に行う。
 - (1) 看護学科: 指定校推薦校の見直し、募集活動の早期化、範囲拡大(地域、大学など) 進路指導教員へのアプローチ、入試の定着、募集活動の範囲・学校訪問数の拡大、複数回の訪問
 - (2) 助産学科: 卒業生、在校生勤務地を活用した募集活動
全国区への募集、関連施設(関東含めて)へのアプローチ
 - (3) PT・OT: 奨学金制度の充実、進路指導院へのアプローチ、複数回の学校訪問、充実したオープンキャンパスの開催

V. 管理体制の強化

1. 自己点検・自己評価を実施し、教育における教育内容・教育方法を充実する。

- 1) 自己点検・自己評価導入に向けての教職員全員の意識向上を図る。
- 2) 自己点検・自己評価項目を活用しての評価(全職員対象)を行う。
- 3) 授業・演習・実習指導等についての授業評価を計画・実施して、自己の指導の指針とする。
- 4) 自己点検・自己評価の結果(自己点検・自己評価スケール、卒業時満足度調査)について、一部外部公表を行う。

2. 専任教員キャリア別達成目標を活用し、教員の質の向上に努める。

- 1) 教職員の適正人数の配置を行う。
(人員配置、実習指導教員の強化、図書司書の配置)
- (1) キャリア別に目標設定することで、教員自身の本校での位置づけを明確にし、主体的に判断・行動できる。
- (2) 教員をサポートする研修体制の充実を図る。
 - ① 関連学校における中央研修への積極的な参加
 - ② 各専門領域での専門性を向上するための研修の支援体制の整備

3. 円滑な学校運営を行う。

- 1) ワークライフバランスを考慮した業務内容の見直し、業務改善を行う。
 - (1) 学科ごとに業務内容のマニュアル化を進めていく。
 - (2) 会議運営について、組織的・効果的な実施を図る。
 - (3) 業務改善を行い、残業時間を短縮する。
- 2) 情報機器の活用により、業務の効率化、情報の共有化を図るとともに、情報セキュリティ対策を強化する。
- 3) 学事システムの導入後の実施・評価・修正に取り組む。
学籍システム導入後の学籍簿整理・規程作成を進めていく。

4. 設置する学校・学科等

専修学校

学校名	開校年月	学 科		修業年限	入学定員	総定員数
福岡看護専門学校	平成2年4月	看護学科	3年課程 全日制	3年	50名	150名
		看護学科	2年課程 夜間定時制	3年	50名	150名
		看護学科	2年課程 通信制	2年	250名	500名
小倉リハビリテーション学院	平成16年4月	理学療法学科	昼間コース	3年	80名	240名
		理学療法学科	夜間コース	4年	40名	160名
		作業療法学科	昼間コース	3年	40名	120名
下関看護リハビリテーション学校	平成16年4月	理学療法学科	昼間コース	3年	80名	240名
		看護学科	3年課程 全日制	3年	40名	120名
八千代リハビリテーション学院	平成16年4月	理学療法学科	昼間コース	3年	80名	240名
		理学療法学科	夜間コース	4年	40名	160名
		作業療法学科	昼間コース	3年	40名	120名
福岡和白リハビリテーション学院	平成19年4月	理学療法学科	昼間コース	3年	80名	240名
		理学療法学科	夜間コース	4年	40名	160名
		作業療法学科	昼間コース	3年	40名	120名
福岡水巻看護助産学校	平成20年4月	看護学科	3年課程 全日制	3年	80名	240名
		助産学科	1年課程 全日制	1年	25名	25名
武雄看護リハビリテーション学校	平成23年4月	理学療法学科	昼間コース	3年	40名	120名
		看護学科	3年課程 全日制	3年	40名	120名

助産院

施設名	開設年月	部屋数	備 考
みずまき助産院 ひだまりの家	平成22年9月	6床	・H22.9～H23.3まで出張助産にて運営



学習者一人ひとりに目を向けた教育の推進
～豊かな人間性、責任感のある看護専門職の育成を目指して～

1. 実践力の向上

教育機材の充実を図り、社会に貢献できる実践能力を身につけた有能な人材の教育を行う。

- ①シミュレーター(シナリオ・フィジコ等)の活用、教育方法の工夫
- ②技術教育の強化とあり方の検討
- ③教育力向上に向けた教員研修の積極的な受講

2. 学生満足度向上の実現

- ①より良い環境で教育を行い、学生満足度の向上を実現する。
- ②自ら学び探求していく教育方法を取り入れていく。

3. ICTを活用した教育の推進

- ①タブレットを活用した授業・実習指導の実施
- ②ICTに関する教職員への研修の実施
- ③効果的なWi-Fiの活用

4. 各学年の履修率・卒業率向上のための取り組みの実施

- ①国家試験合格率100%実現に向けての各学年の取り組み強化。
- ②主体的学習の支援、学習方法の確立、効果的なグループ活動
- ③臨地実習での学びの実感とタイムリーな指導
- ④実習指導担当教員の充実
- ⑤カウンセリングの効果的な活用、学生個々とのかかわり

5. 社会貢献活動及び地域連携の充実

- ①福岡和白病院との共同活動(健康フェスタ・職場体験)
- ②地域清掃活動
- ③地域や近隣高校へのアピール(学校・職業紹介、入試面接指導)

6. 効果的な広報活動の展開

- ①広報戦略の立案および広報活動の実施
- ②ホームページの運営上の課題や要望を顧みて、効率向上を目指す改善の実施

7. 経費削減

- ①前年度も実施した経費の見直しを継続して実施

8. 業務効率化の推進

- ①業務分担を再考し、ワークライフバランスを改善
- ②役割別マニュアルの見直し
- ③実習時間の検討・調整

9. 職員力の向上

- ①個人目標の設定と評価
- ②各科の特徴に合わせた教育目標の設定と評価
- ③コミュニケーション能力とリサーチ力を駆使した組織づくり



魅力ある教育内容の充実と信頼される学校作り

1. 学習支援体制の充実

- ①基礎力、専門力、実践力の育成
- ②思考力、判断力、コミュニケーション能力の向上
- ③学習継続、学習困難の支援体制の充実

2. 生活支援体制の充実

- ①基本的な生活習慣の徹底
- ②学生理解と速やかな対応
- ③学生の心理面サポート
- ④学生・保護者・学院の情報共有と連携

3. 進路支援体制の充実

- ①国家試験合格率の向上
- ②就職率の向上
- ③退学率の低減

4. 教職員の資質能力の向上

- ①授業内容、指導方法の工夫・改善、充実に向けた取り組み
- ②教育の資質能力の向上に向けた研修会等の実施
- ③人権意識の高揚

5. 広報活動の推進

- ①高校訪問、ガイダンス、オープンキャンパスを中心とした情報提供
- ②入学者のニーズに即したオープンキャンパスの実施・改善
- ③ホームページ、学校案内の充実・改善
- ④高校への出前授業の積極的実施
- ⑤社会人を対象とした外務実施
- ⑥経済的理由により進学に悩む入学対象者への支援

6. 地域貢献・社会貢献

- ①地域の中学・高校との交流及び部活動支援
- ②学校の教育資源・設備を活用した地域との交流促進
- ③ボランティア活動の推進

7. 教育環境の整備

- ①教育上の必要性に対応する施設・設備の整備
- ②防災に対する体制の整備



下関看護リハビリテーション学校

地域に密着した専門学校を目指して
～学生・保護者、地域に信頼される学校づくり～

1. 教育設備・機材の充実とより実践的な教育を行う

- ①学会研修会参加の促進
- ②シミュレーションを用いた実践的な教育 (ICT教育の推進)
 - ・多職種連携ハイブリッドシミュレーター「シナリオ」のリース継続
- ③IPEの推進 (今年度の評価←継続 1年次より計画する)
- ④退学抑止のため、一年次早期からの学習支援の実施
- ⑤学習発表会の実施
- ⑥教員間授業評価・指導の促進
- ⑦グループ校の同科目担当教員間の情報交換

2. 学生満足度向上

- ①階段の遮熱対策:1F～5F
- ②指定規則改訂に伴う教育備品の購入 (理学療法学科)
- ③ICT教育の推進 (教員用iPadの購入)
- ④個人学習ブースの設置
- ⑤老朽化している教育・施設設備の更新 (学校・寮)

八千代リハビリテーション学院 令和2年度事業計画

～環境整備・職業実践教育を推進～

I 新規事業

教育機材の充実を図り、より良い環境で教育を行い、学生満足度の向上を図る。

1. 教育上必要な機械器具購入

経年劣化等で不備品の買換え

指導要領変更による教育備品の追加補充

2. 管理備品買換え購入

オープンキャンパスで入学希望者を迎えるにあたりサロン内の破れた椅子の
買換え

教室の学生椅子の買換え

3. 学内環境の改善

教室ブラインドの取付

教職員のユニフォーム刷新

4. 学外学習の充実

学外実習施設及び実習時間の拡充

実習施設との連携強化

II 継続事業

1. ICTを活用した教育の推進

タブレット、appleTVを利用した授業の実施

ICTに関する教職員への研修

2. 効果的な広報活動の展開

R2年度入学生にタブレット贈呈 ICT授業に対応

ホームページ、学院パンフレットの充実

WEBを活用した広報活動

3. ECO活動 効率的運営 経費削減

経費チェックにより無駄をなくす

常にBEMSのデータを確認し電力の節減を心がける

～効率的な学習で国家資格取得を目指す～

I. 新規事業

- 1 教育上必要な機械器具購入
 - ①経年劣化等で備品の買換え
 - ②指導要領変更による教育備品の追加補充
- 2 管理備品・学内環境の改善
 - ①学習機等の追加購入
 - ②学内備品の老朽化に伴う買換え
- 3 学生の満足度向上について
 - ①学生用男子トイレルーム改装
 - ②PC室プリンターの入れ替え
- 4 業務効率化について
 - ①教職員用複合機の追加

II. 継続事業

- 1 ICTを活用した教育の導入
 - ①新入生全員にiPad支給
 - ②ICT活用方法の研修会開催
- 2 退学防止委員会
 - ①両学科進級率100%達成させる
 - ②退学予防のための学生支援方法の検討と確立
 - ③高い進級率とその取り組みを体系化することで、広報的な効果を上げる
- 3 入学希望者のニーズに合った効果的な広報活動を実施
 - ①SNSを活用し、学校の認知度・ブランディングを高める
 - ②パンフレット・ホームページに動画を利用し、魅力を分かりやすく伝える
 - ③ネット広告を活用し、入学希望者の増大を計る
- 4 経費削減
 - ①学生サロンの人感センサーによる点灯消灯管理



令和2年度 福岡水巻看護助産学校 事業計画

目標:地域に貢献できる学校を目指して
～カリキュラム改正に向けて学習環境デザインと業務のスリム化～

【管理・運営方針】

・「学校法人福岡保健学院基本方針」に基づき、学校としての事業計画を着実に実行し、社会からの要請に応えとともに、教育機関としての責務を果たします。

〈継続事業〉

1.創造力・実践力の向上を目指した教育の推進

- ・アクティブラーニングによる授業実施を推進します。
- ・共同学習としてのICT教育を推進し、タブレットを活用した授業、演習の実施を行います。
- ・ICT教育に関する研修を教職員へ実施します。
- ・シミュレーション教育として、シナリオ君やフィジコ等を専門領域で活用し、教育方法の工夫を図ります。
- ・「学生による授業アンケート」を実施し、結果を活用することにより、教育方法等の改善を目指します。
- ・学会及び研修等への参加については、その規程に従い、計画的に取り組み、職員の専門領域の能力の向上に努めます。

2.学生満足度向上に向けた取り組み

- ・学生満足度調査による結果をふまえ、より良い学習環境を整えていきます。
- ・学生支援のための研修に参加することで、学生との関係性を構築することができるようにします。

3.ICT環境の運用

- ・館内にWi-Fiを設置し、eラーニングを使った講義の復習、国家試験対策等を行います。

4.退学者抑制の取り組み(進級率・卒業率向上への実現)

- ・保護者と職員との関係性の向上に努め、保護者と連携した学生支援を目指します。
- ・各学年、年1回以上の保護者会を実施します。

5.国家試験合格率100%に向けた取り組み

- ・1年次からの積み上げとなるカリキュラムの作成を目指します。
- ・成績下位学生に対して時宜を逸することなく、修学指導への取り組みを強化します。

6.定員充足への取り組み

- ・学生募集、広報活動の強化を図ります。

7.地域連携の充実にに向けた社会貢献の推進

- ・昨年度より実施している地域清掃(通学路の清掃等)を継続していきます。
- ・福岡新水巻病院で実施している健康まつりへの参加を継続していきます。

8.業務効率化の促進

- ・ワークライフバランスの観点から職場環境の改善に努めます。
- ・「働き方改革関連法」への対応を行います。
- ・学内のLANを活用し、ペーパーレス化を図ります。

9.就職支援、キャリア支援

- ・早期にキャリア形成を意識し、就職先選択の考え方や将来のビジョンを考えるような体制をつくります。
- ・関連病院に関する説明会を継続して実施し、関連病院就職率70%以上を目指します。

〈新規事業〉

1.新カリキュラムに向けての取り組み

(教育内容・方法等)

- ・保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正案にそって、教育内容、方法等の見直しをはかるため、ワーキンググループをおき、検討を図っていきます。

(学習環境づくり)

- ・合同授業に備え、教室の改築を行います。
- ・図書室を拡大し、もっと効果的に活用できるようにします。



人間性豊かな学生を育て、信頼される学校創りに邁進する

～10周年に向けてより一層の活性化をしていく～

1.医療人としての人間性・人間力の育成

- ①儀式や集会などの学校行事への自発的な取り組みと自主的な計画と運営の実施
- ②規則正しい基本的生活習慣の確立と社会的なルールの遵守

2.進路保障100%達成

- ①履歴書の添削と面接指導の充実
- ②学生へ関連病院への訪問見学と連携強化と相談会の実施
- ③卒業生の実施把握と職場訪問

3.国家試験全員合格

- ①1年次からの指導体制の構築と学習習慣の確立
- ②教員の指導力を高めるための研修と外部講師の有効な活用

4.退学・休学者をなくす

- ①定着率100%達成のために、担任、副担任の連携とカウンセリングの実施
- ②学年保護者会を実施して家庭との連携と強化
- ③皆勤賞・精勤賞受賞者の増加を図るための表彰制度

5.魅力ある指導実践(ICT活用等)

- ①学事業務システム管理の更新(2年間)
- ②両学科のeラーニング活用と今後に向けてICT環境の整備と教職員への研修実施
- ③ICT教育に向けてのタブレット端末の購入
- ④図書の本の購入と演習の充実を図るための不足教材購入と理学療法学科指定規則に伴う教材の購入
- ⑤教室用プロジェクターの入れ替え(新規購入)と老朽化した看護技術教材の購入

6.地域、行政と連携したボランティア活動

- ①しょうがい者のスポーツ活動や老人クラブへの協力
- ②特別支援学校や病院行事への積極的な参加と自主的活動
- ③地域の清掃や災害ボランティア活動の推進

7.高校との信頼構築で定数確保

- ①学校単独のガイダンスの開催の充実と高専連携・地域密着型の広報活動の充実
- ②高校部活動への援助(激励金)と支援(技術提供)

8.教育費等の削減と業務の効率化

- ①勤怠管理システムを導入し、教職員の過剰な勤務を改善する

9.教職員の資質向上

- ①教育方針達成のための積極的取組みと仕事の優先順位を決め職務の効率化を図る
- ②各種研修会、講習会を実施参加して教育技術の向上
- ③専任教員による担当授業の配置により講義と実習の質を高めていく

10.学生の住居(アパート)の確保と交通手段

- ①学生支援のための新学生寮の確保と整備と自家用車での通学のための駐車場の整備

11.開校10周年に向けての準備作業(整備)

- ①2020年の式典準備作業の計画と資料収集
- ②地盤沈下に伴う正面玄関のアプローチ改修工事と校舎東側(学生サロン側)配管工事(地下配管から屋根裏配管へ)

12.経費削減及び省エネ対策の実施と校内環境整備

- ①全校LED化に伴う電気使用料の削減と消耗品の節約と省エネのための職員と学生への意識付けを図る
- ②校内の美化活動と施設保持と整備